

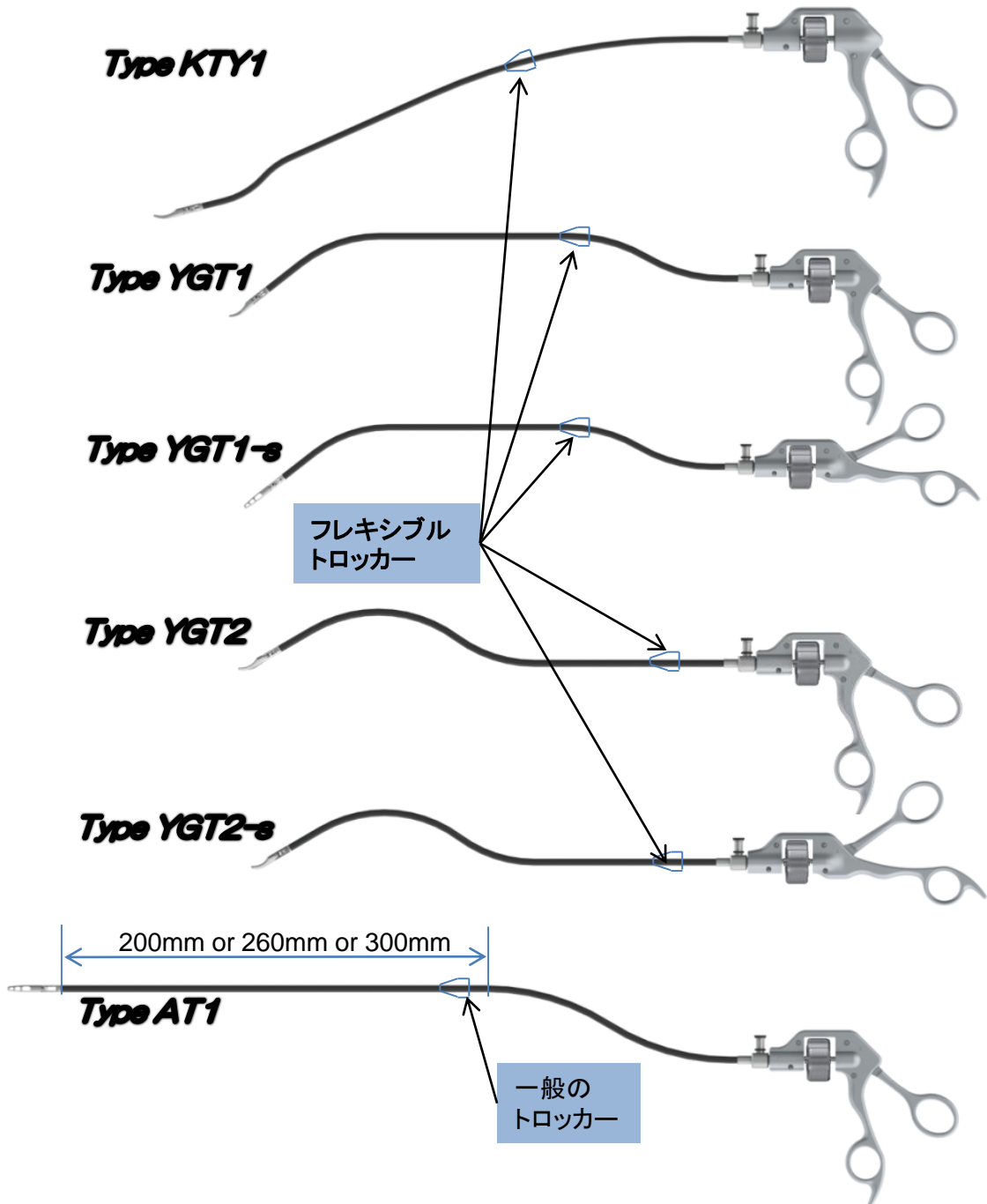
# アダチ単孔鉗子 ラインナップ

医療機器製造販売届出番号：22B1X10011000002

アダチ単孔鉗子の把持面には、一般的なスリットとダイヤ(注)の2種類があります。

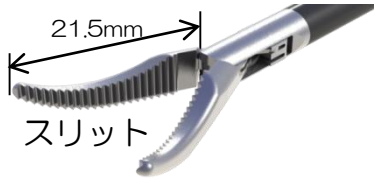
(注：特注となります。お問い合わせください。)

また、Type AT1は、下記のように体内挿入部分のストレート長には3種類ございます。



## メリーランド剥離鉗子

剥離操作のほか、突起が無い構造のため縫合操作の補助鉗子に使用できます。その他に、先端強湾の60度、90度もございます。



## 強湾60度メリーランド剥離鉗子

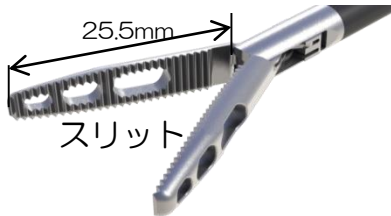


## 強湾90度メリーランド剥離鉗子



## MU織細把持剥離鉗子

組織を強く把持できるほか、先端がテーパーしており、剥離も行えます。縫合操作の際、組織を把持できるとともに、糸の把持も可能で、結紮操作の際、糸がからまないように無突起構造となっています。多くの用途に使用できる万能鉗子です。



## 有窓把持鉗子

胃を把持できるほか、リンパ節などのこわれやすい組織を把持できます。胃壁が把持できるように、組織把持力を高くしてあります。



## IO先端把持鉗子

先端部の接触面を増やし、把持力を強くしてあります。



## 有窓把持鉗子ロング

腸管（小腸，大腸）を把持するのに有用です。特にスリットはやさし把持する事を目的としております。リンパ節などのこわれやすい組織も把持できます。

